

令和5年度会津若松市商工審議会 会議録

日時	令和6年2月15日(木) 13時15分～14時00分
会場	生涯学習総合センター 研修室3

事務局：諮問事項説明、（仮称）新工業団地基本計画（案）について本編にて説明

委員1：資料16ページに企業が会津若松市に求める条件が書いてある。ここにインフラ整備も求められているが、今後市はインフラ整備について検討していくのか？

事務局：資料16ページについては、企業へアンケートを行った時点の要望であり、回答いただいた企業が、工業団地について交通アクセスの利便性を重視した結果と考えている。こういった結果を受けて、今回の候補地はインターチェンジに近く、企業の要望に応えられるものとなっていると思う。今後の設計の中でも利便性に配慮していきたい。

委員1：これまでこうした企業が立地した後に問題が起きている。企業の出社時間にあわせて、周辺道路に渋滞が起きる。渋滞を避けて出社しようとするると労務上問題があり、労務規定上、あまりに早く出社するわけにもいかない。そうすると勤務する人が全員同様の時間帯となり、渋滞が起きる。

今後の設計の中で、ぜひアクセスといった部分も考慮しながら進めてほしい。交通事業者と提携し、渋滞対策を実施している会社もある。今回の新工業団地は勤務する方が何千人規模になると思う。インフラ整備を今後の課題に入れていただきたい。

事務局：今後の設計や整備の中で、渋滞等の課題も念頭に進めていく。

会長：通勤時の渋滞は、周辺住民の方への影響もあると思う。雇用の活性化が期待できる一方で、その辺りは課題だと思うので、今後検討いただきたい。

委員2：企業にアンケートを実施しているとのことだった。こちらの工業団地への入居企業は選定で決定するのか。

事務局：今現在も企業の誘致活動は行っている。基本的には、誘致について手を挙げて頂いた順に選定していく。

委員2：工業団地を造成することは、地域経済活性化につながると考えるが、やはり誘致企業が営利企業である以上、ビジネスに行きつくと思う。そこに在るだけということではなく、ぜひ、地域とのつながりといった部分も重要視してほしいが、企業側に地域との連携は求めているのか。

事務局：企業誘致の目的の大きなものは地域経済活性化と雇用の創出と考えている。やはり、なるべくその目的が達成できる企業に入居頂きたいと考えている。

事務局：これまでの経過も含めて申し上げると、市の方で一定の誘致業種を決めて、誘致活動を行ってきた。地域住民の方が心配されるのは、振動や公害の点が多いと思う。そのため、まずは業種を絞りながら、そういった環境に影響のない企業に対して、これまでと同様に誘致活動を行う予定である。さらに、これまで受け入れに際しては、市の内部に整備本部会議を組織し、誘致企業について全庁的に検討しながら、地域への影響や、経済活性化など総合的に判断しながら誘致を行ってきた。今回の工業団地についても同様の手法を取っていきたいと考えている。

委員3：先ほども出ていたが、インフラ整備について、今回の候補地はアクセス的には良いと思う。しかしながら、やはり朝夕の混雑状況を考えると、ぜひインフラ整備や公共交通機関との連携はぜひ、検討していただきたい。

また、アンケートの中にもあるが、自然災害が少ない地域ということが企業側の要望にもあるが、地盤調査等を行ったのか。防災の観点や、災害が起きた時の備えといった観点で、入居企業と連携していく、または工業団地を活用していくという考えはあるか。

事務局：工場を持つ企業からは、やはり水害などを心配する声を多く聞いている。今回の場所は、浸水地域や土砂災害の危険が無い地域を選定している。今後も企業の不安点を聞きながら、入居企業に安心頂けるよう、また災害対応などのソフト面も含めて対応していきたい。

会長：今日の意見についてはどうなるのか。

事務局：今回頂いた意見については、今後の設計や整備の中で念頭に置きながら検討していく。

会長：計画自体に修正は必要ないと思うので、ぜひ、商工審議会の議事録に意見を残していただき、引き続きご検討いただきたい。

それでは他に意見が無ければお諮りする。今回の（仮称）新工業団地基本計画（案）について、
について了承することはいかがか。

一同：異議なし

会長：それでは、原案のとおり了承することとする。なお、答申書については、事務局と調整のうえ、
2月19日に市長に答申を行う。

会長：「その他」ということで何かあれば発言をお願いします。→無し。

会長：議事終了とする。
（了）